

# わたなべ英治県政だより

討議資料

発行：渡部英治政務調査オフィス

〈第9号〉

2014年3月

## 「元気の出る大曲・仙北の実現」と 県政発展のため全力で頑張ります！



“秋田に明るい未来を創るため、  
今何が一番大切か？”を語る！

(FM秋田「大人のレッツスタディ」収録にて)

4年連続の豪雪に見舞われ、長く厳しかった冬も草花の芽が顔を出し始め、ようやく春の息吹が感じられます。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私は昨年5月より県議会福祉環境委員長として、健康福祉、生活環境部門は元より、各種政策等に積極的に取り組み、常に県民の声を反映してまいりました。

また、先の2月議会では、会派新みらいの代表として、人口減少対策、経済雇用対策、コメ政策転換への対応をはじめ地元大曲・仙北の地域活性化への提言を行うなど、県政課題に真っ正面から果敢に取り組んでおります。

今こそ、県民一人ひとりが将来に夢と希望を持てるような「元気の出る大曲・仙北の実現」と県政発展のため、全力で頑張る所存であります。皆様には引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

～知事を迎えて～

## わたなべ英治県政報告会 交流会のご案内

と き 平成26年4月27日(日)午後3時  
と ころ 大曲エンパイヤホテル(大仙市大曲白金町8-17)  
会 費 4,000円

※この会報をもってご案内の通知に代えさせていただきます。  
参加ご希望の方はわたなべ英治後援会までご連絡下さい。  
(大仙市大曲上栄町11-9 TEL0187-66-1700 FAX0187-73-5625)



〈ゲスト出演〉

飯塚雅幸氏(サクソフォン奏者)

小西光雄氏(ギター奏者)

# ～この一年間の主な活動～



佐竹知事を迎えて県政報告会  
(平成25年4月)



社会福祉法人 水交会 後三年鴻声の里 視察  
福祉環境委員会県内調査  
(平成25年7月)



会派による知事への政策提言 (平成25年6月)



わたなべ英治後援会グランドゴルフ交流大会 (第5回記念大会)  
(平成25年7月)



夏休み親子環境学習にて  
(青少年育成大曲地域会議主催)  
(平成25年8月)



25年9月議会 一般質問傍聴者

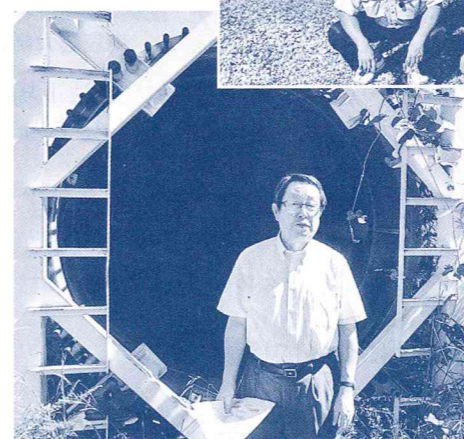


25年9月議会 一般質問

南あわじウインドファーム視察  
(兵庫県)



大曲花火米実習田にて脱穀作業  
(四ツ屋小、花館小の皆様と)  
(平成25年10月)



風力発電支柱の  
断面前にて

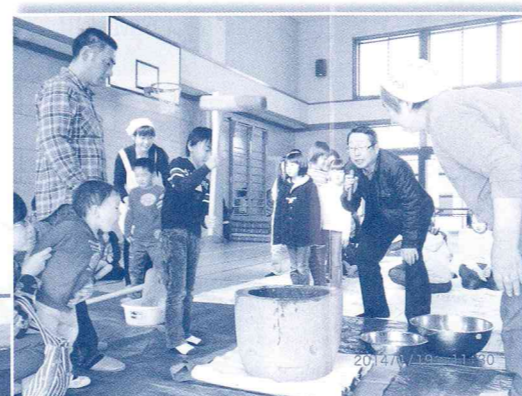
福祉環境委員会県外調査 (平成25年10月)



不法投棄パトロール (花館地区)  
(平成25年11月)



年末防犯パトロール出発式  
(平成25年12月) 大曲駅前交番前



桂児童センター  
もちつき大会にて  
(平成26年1月)



昭和48年会厄払い梵天を迎えて!  
(平成26年2月)



平成26年2月議会 代表質問



26年2月議会 代表質問傍聴者

# 渡部英治の県議会レポート

～代表質問より～  
(26年2月議会)

## 雇用の創出と交流人口の拡大に向けて！

### ◇ 花火産業の創出について (抜粋)

**渡部:**大曲の花火の「文化」を地域経済を潤す「産業」に変えていこうとする「花火産業構想」が大曲商工会議所と大仙市に大仙市商工会も加わり、三者で構想実現を目指すことが発表された。まさに地域資源を活用し、県外から人を呼び込むとともに、県内流動の推進による県内消費拡大と地域経済を活性化させる強力なプロジェクトである。



今こそ構想実現に向け、県民挙げて知恵を絞る時が来たと言える。

花火工場にしても花火パークにしても、構想推進のためには何と言っても財源確保が不可欠であり、佐竹知事には国への働きかけも含めて、県としての強力な支援を要望するがどうか。

**知事:**「大曲の花火」は全国的に知られている日本一の花火大会であり、本県を代表するイベントである。地域の文化と伝統に彩られた「花火」を核に地域経済の活性化へとつなげる本構想は、意欲的かつオリジナルな試みであり、その着想は素晴らしいものがあり、成果が大いに期待できる。すでに地元と意見交換しており、今後、有効な支援制度の活用方策や国への働き等も含め、協議を重ねていきたい。県としては大曲の花火のブランド力を生かし、ものづくりや観光など様々な業種・業態を組み合わせた新たな産業を創出し、その効果を地域経済に波及させようとする創意と工夫に基づく、こうした取組みを積極的に支援していく。



### ◇ 農学部の誘致を目指した取組について (抜粋)

**渡部:**会派の県外調査として、東京農業大学世田谷キャンパスを視察し、醸造・発酵技術の活用や和食文化などについて、意見交換した。その際、同キャンパスには、農業等の実習施設がなく、受入体制がしっかりすれば、実習のフィールドとなる可能性があるとの感触を得た。そこで、学長も興味を示してくれた、大仙市神岡地区の大規模工業団地へ同大学農学部(学科)の誘致を目指した実習施設の設置を検討してはどうか。実習体験の受入から取組ながら、将来の学部あるいは研究機関の誘致と、通年型農業工場、食品工場の誘致など、雇用の創出にもつながる一大プロジェクトに発展するような、夢のある構想を持ちながら取り組んでどうか。



東京農大大学長との意見交換

**知事:**東京農業大学は、実験や実習、演習などを豊富に取り入れた「体験型カリキュラム」が全ての学科で行われていると聞く。このため、国内各地に大規模な農場や演習林等を持っているが、まだ不十分との認識があると考えられる。学部の誘致までには多くの課題があるが、実習体験の一部を県内で実施してもらっただけでも相当程度の交流人口の拡大が期待できる。

まずは大学の意向を十分に確認し、その上で様々な可能性について検討していく。

## 「大曲西道路高架下の活用について」26年度予算化！

「大曲西道路高架下運動広場整備事業」(業務委託・工事)

2,303万9千円

- 冬期間や悪天候時の運動場所として、大曲西道路高架下(大曲飯田地区)を運動広場として整備する。
- 運動広場2面の整備及び照明設備の設置



飯田地区の大曲西道路高架下

## 「わたなべ英治」ホームページ開設中！



わたなべ英治 を 検索 クリック。

「活動報告」「プロフィール」などを掲載しております。

## 「わたなべ英治後援会」事務所のお知らせ

住所: 大仙市大曲上栄町11-9  
(仙北地域振興局の西門向かい)

電話: 0187-66-1700

FAX: 0187-73-5625

